

季刊誌  
Vol.64  
4月号

# Quick ship

本号より表紙デザインを一新いたしました。  
社員から「自慢の一枚」を募集し、広報委員会にて選出した作品を表紙に掲載しております。



▲渡良瀬遊水地\_菜の花と娘【那須\_弓さん】



▲ Central farm FC【本社\_今井さん】



▲ 気球からの眺め【滋賀\_久田さん】



▲ 猫神様クーちゃん(相談役宅の愛猫)  
毎朝社員の健康を祈願するニャ【役員\_大木さん】

# 今

## 伝えたいこと

### »»» 巻頭言

## 志をもって、51期の挑戦へ

社長 関根明



51期がスタートし、私たちは新たな成長への一步を踏み出しました。50期は原材料高騰や海外市場の停滞といった厳しい環境の中にあいながらも、国内事業を中心に堅調な成果を上げることができ、新たな事業領域への取り組みも着実に進展しました。一方で、グループ全体としては課題も残り、さらなる成長に向けた変革の重要性を改めて認識しています。

こうした中、2月に実施されたISO9001維持審査では、当社の品質経営と継続的な改善活動が高く評価され、不適合ゼロという結果を得ることができました。これは日々の現場での地道な取り組みの積み重ねであり、社員一人ひとりの努力の成果です。

51期は「志—まずは考えありき、熱意ある行動と継続力」を掲げ、更なる成長と企業価値の向上を目指してまいります。インフラ、医療、射出成形などの成長分野への挑戦を加速し、変化をチャンスに変えていきます。目標達成の鍵は、組織ではなく「人」です。一人ひとりが主体的に考え行動し、チームとして力を結集することで、大きな成果につながります。

「安全第一」「先手・段取り・念入りに」を徹底し、確実な仕事を積み重ねていきましょう。

皆さんの力が会社の未来をつくれます。ともに挑戦し、51期の目標達成に向けて前進していきましょう。

## 私たちの想い



委員会 総監  
上田匡さん

当社では全従業員参加型の委員会組織があり、いくつか当社ならではの特徴があります。

### 一横組織一

上長が部下に指示（要求）をするのではなく部下が上長に指示（要求）をするそんな光景（場面）があるということです。

例えば、5S委員会メンバーは容赦なく上長の机の上の乱れを注意したりしています。

### 一理念教育も従業員主導一

教育といえば「経営者や上長が社員に行うもの」という印象があるかもしれませんが当社では従業員で構成された理念委員会が教育を担当しています。

従業員目線で、経営者の目が届きにくいところの指導もあり

また従業員が模範となることで、より具体性のある教育に繋がっています。

トップダウンでもなく、ボトムアップでもなく

フラットな関係で行っているのが当社の委員会組織の特徴になります。

この委員会活動こそが社内での「働き方改革」に繋がっていると感じておりますますます活発な活動にしていきたいと思っております。



広報委員会 委員長  
寺本彩希さん

本号より、表紙を写真コンテスト形式にリニューアルしました。

カメラフォルダの中には素敵な思い出がたくさん詰まっていて、実は誰かに見せたいような写真があったりする方も多いのではないのでしょうか。そんな「ちょっと見てちょうだい」を募集してみたところたくさんの写真が集まりました。

応募作品には、それぞれの大切な瞬間や何気ない日常が写し出されており、同じ会社で働いていても見ている景色や感じていることはこんなにも違うのだと、あらためて気づかされました。一枚一枚の写真から、その人らしさや想い、背景にある時間の流れまでもが伝わってきます。

広報は情報を届ける役割だけでなく、こうした一人ひとりの魅力や会社の空気感を形にしていく存在でありたいと考えています。この紙面が部署や立場を越えて互いを知るきっかけとなり、少しでも距離を縮める場になれば嬉しいです。

これからも皆さんとともに、この社外報を丁寧育てていきたいと思っております。

Instagramのフォローやイイネも活動の励みになるので、ぜひよろしくお願ひします！

# DIP製造～創業当時を振り返る～

1975年に稲村ディップとして創業し、ニッセイエコに名前を変え50年を迎えた。今回はニッセイエコ創業者の稲村竹治 現顧問と稲村道雄 現相談役に原点であるDIP成型や当時を振り返ってインタビューを実施しました。

## 「1台のパン焼き機から始まった挑戦」

ディッピングで独立した当時は、パン屋にあるようなパン焼き機を1台借りるところからのスタートでした。フェンス製造会社に向けて、門扉やフェンス支柱の先端に被せる終端キャップを試作したところ、大きな反響がありました。それまでは溶接して塞ぐ必要があり手間がかかっていましたが、このキャップは支柱にぴったりとフィットし、作業効率の

向上にもつながりました。こうして製品は徐々に受け入れられ、売り上げも順調に伸びていきました。さらに1974年には、兄弟二人でトランスファマシンを開発。当時としては珍しい、12Vトランジスタで動く装置でした。限られた設備の中でも試行錯誤を重ねながら、新しいものづくりに挑戦し続けていました。



▲2号機  
奥に写っているのがパン焼き機です



▲創業当時の様子  
ワイパーのコンロットを調整する仕事をもらってました



▲初代トランスファマシン  
親会社のロータリーマシンと比べると1/4程度のサイズでコンパクトでした

## 「思いがけない試練」

オイルショックによる世界的な不況で、世の中の仕事が大きく減っていた頃のことでした。トランスファマシンを開発し、自動化の成功が見え始めていた矢先、道雄相談役が大きな交通事故に遭ってしまいます。腎臓摘出、肋骨全骨折、腹膜破裂という重体でした。そんな中、見舞いに訪れた竹治顧問がかけた言葉は「退院したら早々にも働いてくれ」でした。当時は不況の影響でディッピング大手の企業

が倒産し、その分の受注が入るようになっていたのです。退院後、道雄は竹治とともに製品の大量生産に取り組みました。振り返れば、当時は今では考えられないほどの忙しさだったといえます。マシンも増設し、3台をフル稼働させながら生産量を増やしていきました。こうした努力が実を結び、会社は次第に成長の軌道に乗っていきました。

## 「技術を磨いた難しい製品」



▲酸素鼻腔カニューラ



▲ガソリン給油口ノズル



▲ベトナム工場クリーンルーム

これまでを振り返る中で、印象に残っている製品のひとつがガソリン給油ノズルのカバーです。形状が非常に複雑で、製造には多くの工夫と試行錯誤が必要でした。その複雑な形状ゆえにDIP成型での製造が適しており、多くの受注につながりました。また、現在も生産を続けている酸素鼻腔用のカニューラも、同じように複雑な形状を持つ製品

の一つです。こうした製品づくりには難しさも伴いましたが、技術を磨く機会にもなりました。開発と生産の実績を積み重ね、現在は海外ベトナム工場のクリーンルーム外国製造業認可を取得しています。当時の経験や試行錯誤が、現在のものづくりの基盤となっています。

## 「あの時があるから、今につながる」

兄弟二人で始めた会社も、やがて従業員を迎えるようになり、多くの人に支えられながら成長してきました。中でも、女性従業員の活躍は印象深いものがあります。当時の製造を担っていた船木さんや廣江さんは、現場を支える存在として大きく活躍されました。船木さんはとにかく多くの製品を作り、廣江さんは現場をいつもきれいに整えてくれました。そうした一人ひとりの働きによって、現場は常に活気と清潔さにあふれていたといえます。ディッピングの良いところは、軟質製品をつくる技術にあります。さらにニッセイエコでは材料開発も行っており、そこが大きな強みとなっています。製造現場は、夏は暑く冬は寒い厳しい環境です。そのような中でも日々ものづくりに向き合い、

▽稲村竹治 顧問(左) 稲村道雄 相談役(右)



支えてくれている従業員の存在に、あらためて感謝しています。これまでの経験を礎に、これからも技術を磨きながら、より良いものづくりを続けていきます。

# フェムテックニュース

もっと気軽に、**月経ディスク**

2個セット

New



新登場

3月2日より、これまでの12個入りに加え、手軽に試せる「2個セット」の販売を開始しました。

## 「日本語パッケージで、さらに使いやすく」

日本語表記のパッケージを採用し  
製品情報や使い方がより分かりやすくなりました



## 「イラスト付きで使い方も安心」

パッケージにはイラスト付きの使用方法や  
初めて使う際のヒントも掲載  
初めての方にも安心してお試しください

## 「初めての方にも試しやすいサイズ」

12個入りよりも手軽に試せるため  
月経ディスクを初めて使う方にもおすすめです



## 「おなじみのカラフルデザインを継承」

12個入りで親しまれてきた  
色鮮やかなパッケージデザインの  
イメージをそのまま受け継いでいます

### 2個セット誕生秘話

Flex月経ディスクを日本で販売してから1年半が経ちました。展示会などで多くの方とお話しする中で、月経ディスクにとっても興味を持ってくださる方が多いことを実感しました。一方で、「最初から12個は少しハードルが高い」「まずは少ない数で試してみたい」「パッケージが英語で分かりづらい」といったご意見もいただくようになりました。

そうした声をきっかけに、「もっと気軽に試していただける形を作れないか」と考え、日本語説明付きの2個セットの企画がスタートしました。Flexチームで箱のデザインから一つひとつ形にしていく過程はとても貴重な経験となり、日本向けの商品を自分たちの手で作り上げたことで、この商品への愛着もより一層深まりました。

この2個セットが、Flex月経ディスクを気軽に試す“はじめの一歩”になれば嬉しいです。 大木千里

新入学・成人を迎えた社員のお子さんをご紹介します。  
保護者である社員から、心温まるメッセージも届きました。

# 入学 祝 成人

堀口さん(武虎(ブコ)さん)  
勇猛さ・力強さを軸に、  
挑戦と勝負を通じて  
充実した人生を歩んで欲しいです。

ミョートウさん(ジャンレイトウさん)  
ジャンは小学校に入学します。  
彼は学校に行くのも読書も大好きな  
明るい子です。

学代表(迅さん)

小学生になったら漢字をたくさん覚えたいと、  
毎日お風呂に貼った漢字ポスターを音読中。  
父は算数が得意なのに。。

▷迅くん

◁ジャンくん

矢後さん(長男)

夢を叶える為、  
一生懸命勉強に励んでほしいです。

滝澤さん(愛音花(まどか)さん)

高校生活も大好きな陸上を  
精一杯頑張ってください!!

谷居さん(研伸さん)

『一生懸命生きてください!』  
『いつもあなたの味方です!』

島川さんご夫妻(長男)

サッカーでは心身共に成長し、親としても  
楽しい時間を過ごせました。感謝の気持ちを  
忘れずに頑張ってください。(父より)

無口ながらも優しい人に成長してくれました。  
4月から社会人、美容師デビュー楽しみにしています(母より)

柳沢さん(Y.M)

これからあなたはたくさんの経験をして更に大きく成長していくことでしょう。  
どんな時も自分を信じてあなたの選んだ道を堂々と歩んでください。

◇Mさんより◇ようやく20歳になりました。春から社会人になります!  
死なない程度にがんばります! 20年間ありがとう!

Hello world

上田さん長男

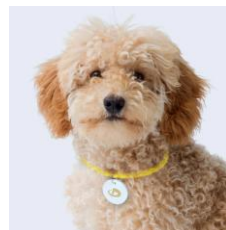
しょうと  
翔斗くん

よく泣く子で、  
いつも手足をバタバタさせて  
落ち着きないですが、  
元気いっぱい育てられています!

# INFORMATION

## ペット

第4回 インターペット大阪  
2026年6月19日（金）-21日（日）inインテックス大阪出店予定



大人気商品：ペット用チョーカー(ファイテンコラボ商品)

チャームの裏面には、お名前や連絡先を刻印でき、世界にひとつだけのオリジナルチョーカーが作れます♪

イチオシ商品：革製ペット用首輪(ファイテンコラボ商品)



シンプルなデザインですが、自然と目を引く動物にも優しい商品です。付けていることを忘れるほどとっても軽く、革製のため長持ち&フィット感が特徴です♪

## ハイキング

春分の日陣馬(場)山から景信山を縦走しました。  
曇りや霧に包まれる場面もありましたが、大雨に降られることなく無事に歩き切ることができました。  
午年に登るご縁もあり、山頂では白馬に出会えたのも印象的でした。  
さらに咲き始めた桜も楽しめ、自然を満喫できた一日となりました。



## 湘南ドルフィンズ

2025年11月関東大会へ出場し12月に開催された全国大会へ進出しました。  
大きな太鼓や旗、楽器を持ちながらも息のそろう演奏とパフォーマンスは私たちに元気と勇気を与えてくれます！  
現在2026年のメンバーを募集中です！！



## New Fase

タルジョノさん(インドネシア出身)



日本の好きな食べ物は？

→おにぎり

人生で一番うれしかったことは？

→魚がいっぱい釣れたこと

お金をたくさん持っていたら？

→貯金・家族にあげる

一言

→仕事がんばります。